



# 改善・再発防止策の進捗状況について

---

一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク

2024年10月10日



# 改善・再発防止策の進捗状況

課題	主な改善・再発防止策	進捗状況（7月～9月）
<b>委託者としての マネジメント不十分</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベンダーにおける設計のレビュー体制や試験内容の十分性の確認を行う等委託先管理の体制整備</li> <li>東阪同時障害や加盟金融機関影響を踏まえた移行方法・時期の検討</li> <li>障害復旧対応に係る優先順位の整理、適切なタイムマネジメントについてマニュアル化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発プロジェクトのNTTデータにおけるレビュー体制・各レビュアーの経験等を確認</li> <li>次期全銀システムの開発体制等を確認</li> <li>ベンダマネジメント向上の一環として、現行システムの情報開示の改善について、NTTデータと合意</li> <li>NTTデータと東阪同時故障を想定したシナリオを洗い出し。合同で「東阪両系障害対応訓練」を実施</li> </ul>
<b>加盟金融機関も含めた BCPの実効性不足</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要なコンティンジェンシープランの策定、移行時の必要十分な人員体制の整備</li> <li>代替手段に係る運用ルールの整備・強化</li> <li>代替手段運用訓練のシナリオの見直し等、実践的な訓練を通じた実効的なBCP確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害発生時の実運用を想定した「センター代行発信・受信代行運用訓練」を実施中（8回中3回実施。140行中45行が実施済）</li> <li>複数の障害ケースを想定した「欠送・二重発信確認対応訓練」の実施要領を作成、加盟銀行へ通知（11月、12月に実施）</li> <li>障害復旧対応に係る内部研修を実施</li> </ul>
<b>大規模障害を想定した 全銀ネットにおける 危機管理体制の脆弱性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加盟金融機関とのお客さまを意識した対外公表内容の事前整理・マニュアル化</li> <li>大規模障害時の全銀ネットにおける対応体制・役割分担の明確化</li> <li>全銀ネット内部の研修・訓練に大規模障害を想定した内容を追加し実効的な体制を構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善・再発防止策等を踏まえ、システム人材の育成方針を策定</li> <li>新設したITシステム委員会等において、次期全銀システム開発等について深度ある議論を実施中</li> </ul>
<b>システム人材の不足と 組織の脆弱性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材強化、加盟金融機関からの出向受入・外部採用</li> <li>CIOの設置による体制強化、IT・システム関連の委員会設置など検討体制の見直し</li> <li>第三者評価における実効性あるチェックの重視</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善・再発防止策等を踏まえ、システム人材の育成方針を策定</li> <li>新設したITシステム委員会等において、次期全銀システム開発等について深度ある議論を実施中</li> </ul>



# (参考) NTTデータにおける改善・再発防止策の進捗状況

- NTTデータの各改善・再発防止策については、全銀ネットにおいて以下のとおり進捗状況を確認。

課題	主な改善・再発防止策	進捗状況（7月～9月）
設計・製造工程プロセスの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラム修正方針を詳細設計関係者含めて判断するようプロセスを変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記観点を反映した開発実施要領にもとづき、APIGW開発・ZEDI更改のプロジェクトを進行中</li> </ul>
試験工程プロセスの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな基盤環境のテーブルの正当性を確認するため、変更対象外のテーブルについても、新旧テーブルのコンペアを実施</li> <li>本番環境を想定した、実取引相当の商用データをを用いた疎通試験を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発実施要領にもとづき、次期全銀システムのプロジェクト計画書を策定中。今後作成する全体試験計画にも左記観点を取込み</li> </ul>
復旧対応プロセスの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害発生時の復旧ガイドラインの策定</li> <li>同ガイドラインにもとづく実践的な訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東阪同時故障を想定した複数シナリオを策定</li> <li>上記シナリオにもとづき、ブラインド方式で「東阪両系障害対応訓練」を実施</li> </ul>
再発防止策に対する歯止め	<ul style="list-style-type: none"> <li>基盤更改等に対する品質保証の観点から、OS非互換の計画段階から非機能観点の知識を持つ基盤人材の参画</li> <li>NTTデータおよびグループ会社が重要な開発プロセスを分担することで、当該プロセスの実態を把握し、トラブル時の復旧対応におけるフィージビリティの感度を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>APIGW開発、ZEDI更改の進捗状況に応じ、体制を整備（継続）</li> <li>左記観点を踏まえた次期全銀システムの開発体制の構築を検討</li> </ul>